

第 26 回(2013 年度)
名古屋大学年代測定総合研究センター
シンポジウムプログラム

日時:2014 年 1 月 28 日(火)9:25~17:30(受付開始 9:00)

2014 年 1 月 29 日(水)9:15~17:00(受付開始 9:00)

※各講演の開始時刻は変更となる可能性があります。あらかじめご了承ください。

場所:名古屋大学環境総合館 1F レクチャーホール

【2014 年 1 月 28 日(火)】

09:25-09:30 開会の挨拶

〔センター施設報告〕

(座長:榎並正樹)

09:30-09:45 名古屋大学タンデトロン AMS¹⁴C システムの現状と利用(2013)

中村俊夫・タンデトロン年代グループ(名大・年測センター)

09:45-10:00 CHIME の現状と利用(2013)

加藤文典・榎並正樹・佐藤桂(名大・年測センター)

〔平成 25 年度 新研究創成経費研究報告〕

(座長:中村俊夫)

10:00-10:15 遺跡試料を用いた ¹⁴C 年代測定と海洋リザーバー効果の検討

一木絵理(名大・年測センター)

10:15-10:30 ウランと鉛の同位体組成アイソクロンを利用したジルコン U-Pb 年代
測定法の検討

佐藤桂(名大・年測センター)

10:30-10:45 北日本産樹木を用いた酸素同位体比標準年輪曲線の構築

箱崎真隆(名大・年測センター)

10:45-11:00 休憩

〔一般講演 セッション 1〕

(座長:小田寛貴)

11:00-11:15 長期水田利用下で蓄積した土壌有機炭素の安定性

中原誌公(名大・院・生命農)・Ping Zou(浙江省農業科学院)・安藤豊(山形

大・農)・Jianrong Fu(浙江省農業科学院)・Zhihong Cao(中国科学院土壤研)・渡邊彰(名大・院・生命農)

11:15-11:30 ヒノキ-カラマツ林におけるリター層-土壌層間炭素供給機構の解明

伊藤健二・森泉純・山澤弘実(名大・工)

11:30-11:45 福島第一原発事故に伴う福島県の放射性物質の汚染-2013年の状況-

千葉茂樹(福島県立小野高校)・諏訪兼位(名大・名誉教授)・鈴木和博(名大・年測センター)

11:45-12:00 仙台平野から採取した歴史津波堆積物の放射性炭素年代測定

渡邊隆広・細田憲弘・土屋範芳(東北大・環境)・中村俊夫(名大・年測センター)

12:00-13:00 ポスターセッション(コアタイム 12:30-13:00)・昼食

[特別講演 1]

(座長: 中村俊夫)

13:00-14:00 エジプト西方砂漠ハルガオアシス、アル・ザヤーン神殿遺跡の保存調査

塚本敏夫(元興寺文化財研究所)

[特別講演 2]

(座長: 中村俊夫・一木絵理)

14:00-15:00 縄文時代早期末の環境と文化 - 佐賀市東名遺跡から見えてきた縄文文化の真相 -

西田巖(佐賀市教育委員会)

15:00-15:15 東名貝塚遺跡の放射性炭素年代

中村俊夫(名大・年測センター)・西田巖(佐賀市教育委員会)

15:15-15:30 休憩

[一般講演 セッション 2]

(座長: 加藤文典・佐藤桂)

15:30-15:45 EPMA 定量分析で用いられるパラメーターの検討

加藤文典(名大・年測センター)・Mi-Jung JEEN (Center for Research Facilities, Pusan National University)・Deung-Lyong CHO (Geological Mapping Department, Geological Research Division,

Korea Institute of Geoscience and Mineral Resources)

- 15:45-16:00 西南日本内帯 瀬戸内の後期白亜紀花崗岩体の形成末期の流体組成変化
佐藤桂(名大・年測センター)
- 16:00-16:15 三波川変成帯の研究史と東野コレクション
榎並正樹(名大・年測センター), 東野外志男(石川県白山自然保護センター)
- 16:15-16:30 Petrological and Chronological studies on the Mogok metamorphic rocks of central Myanmar
Maw Maw Win(名大・院・環境)・加藤丈典・榎並正樹(名大・年測センター)

〔一般講演 セッション 3〕

(座長:南雅代)

- 16:30-16:45 AMS¹⁴C 年代測定と花粉分析による縄文早期の北海道中山峠湿原における
池塘の存在の解明
星野フサ(北大・総博・ボランティア)・萩原法子(札幌第一高校)・中村俊夫
(名大・年測センター)
- 16:45-17:00 北海道厚真川下流域の後期更新世～完新世の古環境変遷
岡孝雄(アースサイエンス(株))・近藤務((株)北海道技術コンサルタント)・中
村俊夫(名大・年測センター)・星野フサ(北大・総博・ボランティア)・安井賢
(有)甲賀地盤 調査)・井島行夫・関根達夫(石狩沖積低地研究会)・米道博
(北海道道路エンジニアリング(株))・宿田浩司(和光技研(株))・山崎芳樹
(株)北開測地)・乾哲也・奈良智法(厚真町教育委員会)
- 17:00-17:15 愛知県八竜湿地におけるボーリング試料の年代と古環境
小野知洋・森勇一(金城学院大学)・中村俊夫(名大・年測センター)
- 17:15-17:30 保存処理された木材の ¹⁴C 年代測定を目的とした Py-GC/MS の活用
西本寛(愛知大学)・大谷肇(名古屋工業大学)・中村晋也(金沢学院大学)・
中村俊夫(名大・年測センター)

18:00-20:00 懇親会(会場:花の木(学内レストラン. 講演会場より北東へ徒歩 2 分))

【2014 年 1 月 29 日(水)】

〔一般講演 セッション 4〕

(座長:南雅代・一木絵理)

- 09:15-09:30 Tephrochronology in Adak Island, central Aleutians
奥野充(福岡大・理・噴情研)

09:30-09:45 限外ろ過法を用いた化石骨の ^{14}C 年代測定-これまでの総括-
南雅代(名大・年測センター)・坂田健(名大・院・環境)・中村俊夫(名大・年測センター)

09:45-10:00 樹木年輪に刻まれた突発的宇宙線イベント
三宅美沙・増田公明(名大・太陽研)・箱崎真隆・中村俊夫(名大・年測センター)・門叶冬樹・加藤和浩(山形大・理)・木村勝彦(福島大・理工)・光谷拓実(奈文研)

[特別講演 3]

(座長:榎並正樹)

10:00-11:00 南極の地質と U-Pb 年代
外田智千(国立極地研究所)

11:00-13:00 ポスターセッション(コアタイム 11:00-12:00)・昼食

[特別セッション:炭素 14 で見た古文書・古筆切の世界]

(座長:中村俊夫)

13:00-13:05 趣旨説明

小田寛貴(名大・年測センター)

13:05-14:05 基調講演:古文書の真贋鑑定と料紙の年代測定

増田孝(愛知文教大・人文)

14:05-14:20 古文書・古筆切・古写経切の年代測定とその史料価値の判定-現在までの21年間の共同研究を総括し、今後の展望を述べる-

小田寛貴・中村俊夫(名大・年測センター)・増田孝(愛知文教大・人文)・池田和臣(中央大・文学)・安裕明(茨城県立多賀高校)・坂本昭二(龍谷大・古典籍デジタルアーカイブ研究センター)・吉澤康和(広大・名誉教授)・古川路明(名大・名誉教授)

14:20-14:35 炭素 14 による古筆切の年代測定-最新成果二, 三-

池田和臣(中央大・文学)・小田寛貴(名大・年測センター)

14:35-14:50 古写経研究における料紙年代測定の結果

安裕明(茨城県立多賀高校)

14:50-15:05 顕微鏡による古文書料紙の非破壊分析

坂本昭二(龍谷大・古典籍デジタルアーカイブ研究センター)

15:05-15:15 質疑応答

15:15-15:30 休憩

[一般講演 セッション 5]

(座長:榎並正樹)

- 15:30-15:45 愛知県足助東部へ南東部の領家変成岩および花崗岩類の CHIME 年代
三宅明・蛭川孝信・佐藤真希(愛教大・理科)・鈴木和博(名大・年測センター)・仲井豊(愛教大・名誉教授)
- 15:45-16:00 放射性炭素濃度の経年変動による象牙の生長の解析
中村俊夫(名大・年測センター)・小池裕子(九州大学博物館)・鮎沢純・奥野充(福岡大学理学部)・太田友子(名大・年測センター)
- 16:00-16:15 静岡県竜ヶ岩洞石筍の放射性炭素年代
加藤ともみ(名大・院・環境)・南雅代(名大・年測センター)・堀川恵司(富山大・理工)・中村俊夫(名大・年測センター)
- 16:15-16:30 福岡市における PM2.5 中全炭素の ^{14}C 濃度・ $\delta^{13}\text{C}$ の季節変動
早田葵・池盛文数(名大・院・環境)・肥後隼人(福岡市博多区保健福祉センター)・木下誠(福岡市保健環境研究所)・中島大介(国立環境研究所)・兼保直樹(産業技術総合研究所)・南雅代・中村俊夫(名大・年測センター)
- 16:30-16:45 名古屋大学年代測定総合研究センター夏休み特別企画「年輪年代法体験学習」活動報告
箱崎真隆・中村俊夫・榎並正樹(名大・年測センター)・増田公明(名大・太陽研)・南雅代・池田晃子・一木絵理・佐藤桂・太田友子・西田真砂美・田中敦子・伊原由紀子(名大・年測センター)・城森由佳・加藤ともみ・早田葵・富山慎二・國田圭佑(名大・院・環境)
- 16:45-17:00 閉会の挨拶・アンケート記入

ポスター発表(環境総合館 1F 玄関ホール 28日 12:00-13:00, 29日 11:00-13:00)

ヘッドスペース法による水試料の放射性炭素測定のための前処理法の検討
高橋浩・半田宙子(産総研)

イランの Sang-e Chakhmag 遺跡の ^{14}C 年代

常木晃(筑波大・人文社会科学)・中村俊夫(名大・年測センター)

鉄サビの放射性炭素年代測定のための基礎実験

中村俊夫(名大・年測センター)・山田哲也(元興寺文化財研究所)・太田友子(名大・年測センター)

石川県に分布する黒ボク土の特徴と生成

勝見尚也・笹倉康弘・今寺さくら・米林甲陽・岡崎正規(石川県立大学)

紀元 5 世紀の屋久杉年輪試料をもちいた高精度放射性炭素年代測定

箱崎真隆・中村俊夫(名大・年測センター)

水試料の放射性炭素分析のための前処理法の比較検討

南雅代(名大・年測センター)・高橋浩(産総研)・荒巻能史(国立環境研)・太田友子・中村俊夫(名大・年測センター)

名古屋大学東山キャンパス各所の放射線量

富山慎二・加藤ともみ・坂田健(名大・院・環境)・田中剛(名大・年測センター, 韓国地質資源研究院)

鶴舞公園の「なぞの石」

富田純治(東海自然学園・東海シニア自然大学)・鈴木和博(名大・年測センター)

講演者のみなさまへ

口頭発表:

時間は、一般講演 15 分、特別講演 60 分(質疑応答・交代時間を含む)です。

多数の講演を予定しております。時間厳守でお願いします。

発表の際は、パワーポイント(Windows・Mac 双方対応)をご使用下さい。

ご自身の PC を使用することも可能です。

ポスター発表:

会場設置のポスターボード(幅 90cm, 高さ 180cm)をご使用下さい。

コアタイム(28日 12:30-13:00, 29日 11:00-12:00)には必ずポスターの近くにおいて下さい。

シンポジウム終了時に未撤収のポスターは、事務局側で破棄します。